

## 会員による作出花の紹介

### 山根 博充氏 作出花

#### 朝戸鶴 (あさどつる)



清鶴♂×朝戸開♀、交配 2010年6月21日、播種 2010年9月27日、開花 2012年6月13日、江戸系(中生)白地に濃いブルーの太覆輪ぼかしの三英中輪花、銚は立弁同色覆輪で鮮やかな色彩、清鶴似。

#### 藤傘 (ふじかさ)



2010年に鳥取県南部町山林にて自生苗を雑草の中より採取、2012年に初めて開花、濃い藤色に濃いピンクが混ざったような花色です銚はやや立弁で薄い紅紫色、芯は花弁と同様で覆輪入る、江戸系三英中輪花、中生。

#### 小紫葉 (こしば)



2008年作出(第40号で紹介)の同品種、三英、中輪花、花弁元は濃紫色先端は紅紫色、銚はやや立ち弁で同色、バランス良い花です。江戸系、中生。

#### 大郷 (だいごう)



清鶴♂×朝戸開♀、交配 2010年6月21日、播種 2010年9月27日、開花 2012年6月18日、江戸系(中生)、濃紫色に白筋入り、銚は同色芯は白色でくっきり目立つ三英中輪花、朝戸開似。

#### 尾紫鳥 (おしどり)



2008年作出(中海の郷)×武蔵川、2012年6月16日に初開花、花弁は白地に紅紫の脈入り特徴は銚が長く立弁、先端白覆輪で目立つ、三英中輪花、花期、中晩生。

#### 淀の司 (よどのつかさ)



2008年作出(第40号で紹介)の同品種、三英、中輪花、濃紅紫色で花弁中央の目がくっきり、目立つ。江戸系、中生。

#### 三浜の郷 (きゅうひんのさと)



2008年作出中海の郷(朝日空×紅千代鶴)の実生、紅紫に白筋、絞りが混ざる三英中輪花、雰囲気は朝日空似、伊勢系、中生。

#### 夢小町 (ゆめこまち)



交配経過不明(実生) 2012年6月12日に開花、ローズピンクで美しい花、鮮度を保ち花もち良い、草丈60センチで中生小輪花。

#### 夢小藤 (ゆめこふじ)



交配経過不明(実生) 2012年6月12日に開花、花弁元は藤色で中央にかけ同色濃淡となる草丈60センチで夢小町と同タイプ。中生小輪花。

## 富増 和彦氏 作出花

2012 年の開花状況は、春の気温の低温傾向を引きずり、6 月からの開花となった。また、その後も比較的涼しく、晩生品種は7月上旬～中旬に咲き、当地では珍しく遅咲きとなった。

炭疽病対策でリドミル粒剤を3月下旬、芽が数センチ程度伸びたところで、全体の半分ほどに施用したところ、顕著な効き目が見られた。初めての試みである。ここ数年、開花不良で息絶え絶えとなっていた品種が幾つか、立派な花を咲かせ、懐かしく、また、こうした非耐病性品種の栽培にもやる気が出てきた。薬剤で助かり、今季に開花した品種は、実生にも数多くあるが、実生登録申請以外の品種としては以下のとおりである。

「舞扇」「螢舟」「鳳心」「星合の空」「スプリングレーク」「碧濤」「夏姿（江戸系六英縞）」「舞子の浜」「望岳楼」「夜光の珠」「水の都」「青岳城」「梅衣」「雲井の輝（「雲井の雁」ではない、六英藤紫砂子班）」「柵池」「野川」「碧風」「蕉風」「桜盛」

これらは昨秋までには立派な芽に育っていた訳で、これまでは春先に菌にやられて中心の花芽が枯れ、何とか脇芽だけが生き残るといった経過を繰り返してきた。残念ながら薬効なく枯れてしまったのは実生と伊勢系の2鉢ほどであった。来春には全株に施用するつもりである。炭疽病に対する薬剤は今のところリドミル粒剤しかないのであろうか。他の花卉・野菜に対しては複数の薬剤があるようだが、それらは花菖蒲

の炭疽病には効かないのであろうか？リドミル単用では耐性菌の出現が危惧されるとのことで、薬剤メーカーの開発に待つしかないのであろうか。以下、登録申請品種について記す。

### ●小型で浅鉢植えに向くもの 「白八重村雨」 (しろやえむらさめ)



伊勢系「村雨」実生。白八重、中晩生中輪、花茎短く40センチ程度。全体に小型。1花茎に2つ着花することもあるが二番花はうまく咲かないことが多い。親の「村雨」は渋みのある青紫三英であり、本種は自然結実のものを播いたことから、八重の花粉がかかることはまずないと思われ、自家受精の可能性が高く、このような八重が出るのは驚きである。他の兄弟はほとんど伊勢系三英のタイプで、八重紫も出た（増殖悪く未申請）。草姿も小型・剣葉で、浅鉢や小ポリで咲かせている。

### 「小村雨」(こむらさめ)



伊勢系「村雨」実生。青紫三英、中心部は白抜け。中晩生中輪。花茎50センチ程度。全体に小

型。親に似ているがより小型。また、親ほど蜘蛛手は発達しない。

### 「藤村雨」(ふじむらさめ)



伊勢系「村雨」実生。藤色三英、中晩生中輪。花茎50センチ程度。全体に小型。垂れ弁で縮がよく出る。

### 「村雨の滴」

### (むらさめのしずく)



伊勢系「村雨」実生。薄い藤浅葱三英、中晩生中輪。花茎60センチ程度。全体に小型。垂れ弁で縮がよく出る。

### 「涼村雨」(すずむらさめ)



伊勢系「村雨」実生。ごく薄い青紫砂子斑の三英で鉢は赤紫に中ほど白抜け。薬柱の先は花弁と同系色の青紫刷毛目。開花後、色彩は薄れ、白っぽくなる。中晩生中輪。花茎は70センチ程度まで伸びる。

### 「飾り乱華」(かざりらんか)



青味の薄藤三英中輪、伊勢系の角ばった咲き出し。「比叡の朝」の実生。鉢は赤紫覆輪。薬柱の先は赤紫の刷毛目で蜘蛛手。花茎 60 センチ程度。

### 「笹桜」(ささざくら)



桃色細身の三英、晩生。クレストは白。鉢は細く立つ。肥後古花「綴錦」(紫に白絞り六英受咲)の孫。親はクレスト白の薄藤三英で、第 40 号掲載の「萱桜」や、第 36 号掲載(画像なし)「早百合」と姉妹になり、いずれも花色は同パターン。「萱桜」は幅広花卉。本種も「萱桜」同様の晩生で、葉も同じく華奢な細葉で先が垂れる。全体に小柄で 9 センチポリでも 2 ~ 3 花茎を抽出するほど。普通の 6 号鉢での栽培では密植可だが土が余りがち、より小さい鉢か浅鉢が望ましい。

### 「燕返し」(つばめがえし)



実生としては早くに開花し、「氷河の精」や「石山寺」「浅葱朧」などの兄弟であり、10 年以上経過している。小型であり増えないのでどうしようか迷ったが、炭疽病の時代にも生き残って来たので、一応申請することにした。三英中早生、花茎は 50 センチくらいで、青味の藤色、中心白抜け。襷・縮が出る垂れ咲きで、画像のように開花につれ動きがある。落ち着いた味わいがある。

### 「今浦島」(いまうらしま)



三英中晩生、花茎 50 センチくらい。濃い紅色で目元はベルベット状。鉢は艶のあるベター色で革のような質感がある。クレストが真っ白で非常に目立つ。丸みある波状弁。「玉手箱」の実生で、親よりも色彩の対比が鮮明。

### 「夏の湖波」(なつのこなみ)



三英中晩生、花茎 60 センチくらい。紫のグラデーションで目元ほど濃く鮮やか。鉢は濃い紫色。「舩時雨」の孫になる。

### ●背丈がふつうのもの

### 「晴嵐の虹」(せいらんのにじ)



### 「粟津の虹」(あわづのにじ)



どちらも肥後古花「綴錦」の実生の子。親は太茎高性の三英ごく薄紅・鉢斑のもの。両者ともに相同であるが一応、実生上では別株のため別品種とした。三英早咲きで、波状弁、赤味の藤色濃い砂子で目元につれ青味がかり白く抜ける。鉢も同色であるが、半六英状に伸び、幅があることが多い。開花につれ、また、気温が高いと全体に白っぽくなる。

### 「淡墨小町」(うすすみこまち)



白地に青紫の脈・砂子斑で鉢は小豆藤色、三英中輪中生。どうという特徴がないように見えるが、角ばった咲きぶり、襷・縮など伊勢系の特徴があり、渋い。葉や草姿は「四海波 B」「朝日空」とよく似て、小ぶりの剣葉で、密集して咲かせられる点

も同じ。「魃時雨」の孫になる。  
「藤尾滝」(ふじおだき)



灰藤に中ほど白く、開花につれ薄れる。三英中晩生、高性。花弁は大きく垂れ、横から見た二等辺三角形の形は伊勢系の極致ともいべきものの一つ。根が貧弱で、株分けの時には他種とくらべ明らかに少ない。そのため9センチポリに植え付け咲かすこともできる(大輪を見るにはもう少し余裕のある方がよろしい)。「魃時雨」の孫になる。

#### 「夏待の君」(なつまちのきみ)



ごく薄い藤青の三英中晩生。「紅しじみ」の実生で、「紅華蘭」や「青華蘭」の兄弟。咲き出しはもう少し色が濃く、地色に対して白筋が目立つことがある。隙間のある三英であるが花弁の広がり、襲の具合は最も美しいものの一つ。色彩パターンや全体の感じは「花の谷」に似ている。惜しいことに炭疽病に弱い。リドミルで復活して2012年は見事に開花した。

#### 市川 利和氏 作出花

##### 「五常」(ごじょう)



宇宙実生×宇宙実生  
宇宙に良く似た浅葱色八重咲。極晩生で、花径 15 c m・草丈 70 c m。  
草勢やや弱く、増殖悪い。

##### 「薄染衣」(うすぞめころも)



交配品種不明  
白地に極薄い青紫の脈入り、内花被は浅紫の三英・二色花。極晩生で、花径 14 c m・草丈 80 c m。

##### 「盃流し」(さかずきながし)



交配品種不明  
白地に極薄い青紫の脈入り、内花被は茄子紺の平咲き、三英・二色花。極晩生で、花径 14 c m・草丈 80 c mの丸い弁が可愛い品種

#### 武内 暢宏氏 作出花

##### 「小櫃の流れ」おびつのながれ



栽培品種とノハナショウブとの交配を重ねた結果できた品種。小輪花、中早生。花弁は白に近い淡い紫地に濃紫の脈が入る。銚は紅紫に白系覆輪が入る。

##### 「鹿野時雨」かのうしぐれ



栽培品種とノハナショウブとの交配を重ねた結果できた品種。小輪花、中早生。芯は白く目立つ。銚は紅紫。花弁は紫絞りで白覆輪が入る。

##### 「望陀の黎明」

##### もうだのれいめい



ノハナショウブの自然交配より育成。中早生、中輪花。古典的な灰色がかった紫花。